

事業報告書

一般社団法人 豊川青年会議所

2023年度 副理事長

繋がりあい HR グループ 担当

氏名 樋口梨紗



<本年度を振り返って>

繋がりあい HR グループを担当させていただきましたが、両委員会ともその名の通り、人との「繋がりあい」をキーワードとする人財グループとして、一年間活動してまいりました。

グループでの振り返りとしては、両委員長に委員会運営や対外事業に費やす時間を多く使わせてしまい、互いの委員会での繋がりあいが少なかった様感じており、副理事長として反省すべき点でした。

また正副としては、事業の軸となる部分を固めるという、非常に大事な部分がうまく機能していなかったことが反省すべき点であり、正副1人1人の重要性や、役割を担う覚悟が非常に大事であると感じました。

次年度では、繋がりあい、一人一人が覚悟を持って全うして欲しいです。

<拡大特別委員会>

昨年11月より拡大面談をスタートさせ、総勢30名程の方々に拡大面談をしてまいりました。

結果、20名という多くの新入会員の入会に成功することが叶いました。人と接することが好きなので楽しんで活動してきましたが、女性拡大については、女子会を開いたり、話を聞いたり、日々寄り添ってきましたが、入会の費用面や時間を費やすことが難しいこと、男女での隔たりを感じるなどの声があり、本入会に繋がらない例がありました。これは今後も大きな課題であり、女性が参加しやすい環境を整えることが重要であります。

トレーニング事業について、2月から7月末まで、出来る限り毎月15日に実施してきました。内容は、2月にJCの基礎知識、3月に委員長のどや顔パソコン講座、4月に曾根先輩のSDGs講座、5月にJCIインパクト講座、6月に仮入会員の交流と、7月のトレ

ーニング講座相談会、そして7月に格付けバーベキュー大会など、毎月の活動を仮入会員と一緒に行ってきました。継続的な時間を共にすることで、協調性が生まれたり、深い結びつきに繋がったと感じています。田中チルドレンは樋口にとっても、一生涯のチルドレンです。これからも頑張って活躍して欲しいです。

< 伝統を未来へ委員会 >

当初、6月例会だった我が委員会は、協議3を経て7月、8月の2回開催となりました。協議1の段階では、小学区を対象に、伝統である祭りを授業で扱ってもらえないかと、教育委員会や市役所に持ち寄り協議をしてまいりました。しかし、議案上でも表現が足りず、協議2の段階でゼロベースになってしまいました。委員長の想いが詰まった内容をゼロから進めてくことに、委員会でも様々なぶつかり合いもあり、かなり難航しましたが、結果7月には親子でミニ手筒作製、8月には披露と2段階での設えとなり、親子には祭りに興味持ち、今後も地元の祭りに参加をしたいという意識の醸成にも繋がり、大成功の事業だったと思っています。そして青年団には、祭りに対する意識醸成を、より一層強く感じていただける意識に繋がりました。

10月の事業では、若者世代、担い手となる人材である年代の方々や、今後担い手となる可能性が高い外国籍の方々に、手筒の作製から披露までの一式を体験してもらいました。このことで、地域の祭りに対する意識の変化や、来年度以降も手筒を披露したいという意識の変化に繋がりました。この経験から、2つの対外事業を行って良かったと感じています。ただ一つ、10月例会のターゲットについて、もう少し若者を巻き込めれば、今後の直接的な担い手として、直ぐにでも活躍してくれる逸材が生まれた可能性があったのではないかと思います。

反省点は有りますが、豊川の伝統や文化である祭りを知ってもらい、経験してもらえたことは、市民にとっても我々にとっても、大変貴重な体験になったことは間違いありません。

< むすびに >

私個人の意見としては僭越ながら、両委員会は今年一番の活躍を見せた委員会だった公言させていただきます。本当に1年間頑張ってくれましたし、結果を残してくれた委員会だったと思います。拡大では豊川市を支える逸材を発掘し、祭りでは豊川市を守る事業を生み出した大きな実りのある1年でした。素晴らしい委員長やメンバーに支えられ、私は幸せだなと感じています。これからのJC活動をどうか有意義な、活気ある団体として、今後も皆さんで支えていって欲しいと思います。本当にお疲れ様でした。